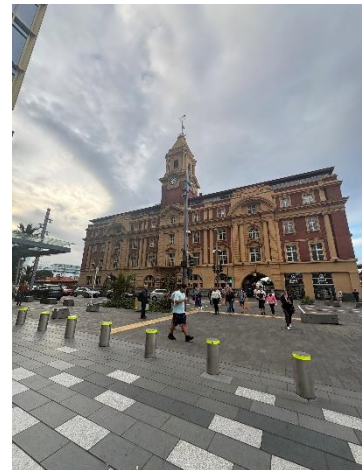


## 留学だより②

2026年5月16日 高橋鷹喜

### ●はじめに

留学開始から100日が経過しました！ここではニュージーランドのホリデー（長期休み）での生活、これまでに気づいた日本とのギャップ、今の自分の生活の状況、質問が来ていたのでそれへの回答、などを書いていこうと思います。ぜひ最後まで読んでみてください。



### ●ニュージーランドでの初の長期休み

- ・宿題がなくとても自由

2週間しかないというのも原因になっているかもしれませんが、宿題が一つもありませんでした。正直宿題が出ないかとそわそわしていた部分もありました。ですが、ニュージーランドでは多くのことが自由で、何をしてもほとんどが自分からアクションしなければいけない部分がほとんどです。また、部活も休暇中2回しかありませんでした。ニュージーランドでは家族との時間を大切にする文化が主流なのでそれも影響しているかもしれません。

- ・サイクロン発生

ホリデー中にサイクロン（台風）が接近しました。あまり強くはなかったですが、数日間、雨と風が強かったです。また、サイクロンが去った後も天気が悪く、風も強かったです。天気は八丈島と少し似ているような気がします。



### ●これまでに気づいた日本との違いをいくつか紹介

- ・部活の大会は一発勝負じゃない

日本の部活は年に2、3回大会があって基本的に負けたら終わりの一発勝負だと思います。ですが、ニュージーランドの部活は違います（バスケット部以外はわかりません）。ニュージーランドでは競技ごとにシーズンがあって、そのシーズン中は毎週一回試合があります。そしてその結果に応じてシーズン終盤にトーナメントに出られるかどうかが決まり、最終的な順位が決まるというシステムになっています。ただ、冬と夏のスポーツが決まっています、例えばバスケット

と、夏は何もない期間があります。モチベーションなどを毎週キープできるので、僕はこっちのシステムの方が良いかなと思います。

#### ・自分や家族のための時間を大切にする

これはずっと書いてきていることですが、本当に家族のための時間を大切にしたり、自由な時間を貴重にしたりする文化があります。それもあってか、部活の回数が週に3回程度だったり、家族の誕生日が理由で休んだりすることは意外と普通なことです。先日あった母の日では、多くの部員がそれを理由に休みました。それに誰も文句を言わず暖かく迎え入れているのもすごくいいなと思います。

#### ・屋内施設が少ない

ニュージーランドは都市の方に行っても、屋内で遊べるような施設が少ないような気がします。学生にとっては少し退屈を感じる部分もあるかもしれません。その代わり、ビーチや公園、リザーブと呼ばれる大きな芝生のグラウンドなどが多くあり、そこが人の集まる場所になっています。東京のような夜も明るい大都市というイメージではなく、自然と都市が調和したゆったりとした風景が広がっています。フェリーで島に行けるみたいなので今度行ってみたいなと思っています。



#### ・勉強は少ない

これはテストの形式が大きく関わっています。日本の高校では、問題が出されそれに対して決まった答えを出すという知識重視のテストが大半を占めており、それが一番の成績判断材料になっています。しかし、ニュージーランドでは日本のようなテスト形式は少ないです。まず、Checkpoint（チェックポイント）とAssessment（アセスメント）があり、アセスメントの方が価値や重要度が高く、その準備のためにチェックポイントが1から2つ程度あるというイメージです。教科にもよりますが、学問的な教科（数学や理科など）では、知識重視のテストがチェックポイントで出題されます。一方で、アセスメントでは、パワーポイント作成、レポート作成など、作品制作に近い自由度高めな課題が課せられます。ですから、最も重要な課題において、正解や答えなどが存在しないケースが多く、それによって勉強量が少なくても問題ないということが起きます。また、授業中での活動が多いので、帰ってから勉強する必要もあまりないです。ただ、この形式は思考力や、自分で調べる、まとめる力など、知識ベースのタスク以上にハードルの高いものだと思っています。社会では正解のないことがほとんどなので、作品制作などといった、創造性が求められる活動は、僕も重要だと思っています。

## ● 100日が経って

### ・英語の伸びを感じています

ターム2（4月後半から）に入ってからターム1よりも英語がスラスラ出てくるような気がしています。友達との関係性が深まっているというのも大きな理由かもしれません。また、自信が英語の伸びの鍵かなとも思います。ターム2に入ってから、「なんか伸びているかも」と思って、英語で話すことへの抵抗がターム1よりも格段に少なくなってきました。3か月、は英語学習のターニングポイントかもしれません。

### ・でもまだまだ

一方で、まだまだだなと感じることもあります。英語は共通言語なため、もちろんそれぞれの国籍、人によってアクセント、早さも異なります。英語を第一言語としない人とのコミュニケーションは比較的楽ですが、ネイティブスピーカー、ニュージーランド英語、ヨーロッパなどの人とのコミュニケーションは難易度が段違いです。単語やフレーズなどのバリエーションは増えてきていますが、まだ英語への反応速度、ぱっと聞こえた音に対しての反応にはまだ苦戦しています。

### ・正直言って留学はしんどい

あまりこういったリアルな自分の心情を書いていないので、ここで書いておこうと思います。正直に言うと、留学は思った以上にしんどいです。特に長期の留学、ホームステイ、語学学校ではない普通の学校、の留学はきついかと思います。それはなぜかという、すべての関係性が0から始まるからです。もちろん英語で生活するのは難しいです。ですがそれよりも、これまで過ごした学校、コミュニティ、友達、家族などからの良い意味での“干渉”がないのは、すごく生活に影響を及ぼします。前までは、遊びに誘われる、勉強をしろと言われる、誰かの話を聞く、といったことがあったため、ある程度他の意見が自分を動かしていました。しかし、留学に来るとほとんどは一人です。勉強をするのも、スポーツをするのも、スマホをいじるのも、すべて自分で決めなくてはなりません。それが自分にとっては想像以上に難しいものでした。だからこそ、自分の身を置く環境を考えたり、自分から話しかけに行ったり、行動を見直すという行為はとても重要だし、留学はそういった環境に適応する力や自分を律する力も育てるのかなとも思います。また、行き詰ったときは日本の友達や家族と話すことも一つの手ですし、外からの刺激をもらうのはとてもいいことだと思います。留学を考えている人は参考にしてもらえたらいいと思います。

## ● 質問回答

### ・ハカは学校でやりますか？

基本はやりません。ですが、ダンスやドラマなどの授業、クラブがあるのでそういった場所ではハカもやるんじゃないかなと思います。また、留学生への入学式的なセレモニーでは、生徒

たちがハカを披露してくれました。授業やクラブによるって感じですね。

・ニュージーランド英語の特徴を知りたい

ニュージーランド英語は簡単に言うと、アメリカかイギリスで言ったらイギリス英語よりで、アクセントが平坦的で、スピードが速いです。また、ニュージーランドだけのスラングなども存在します。マオリ語と、植民地の関係でイギリス英語が混ざった英語らしいです。あと、僕の住んでいる地域は特にですが、ニュージーランドにはニュージーランド人以外の方がたくさんいます。なので、ニュージーランド英語といっても、日常で聞くことはあまり多くはありません。

・学校の友達との話題は？

僕の友達は留学生が多いので、それぞれの国の比較や、文化の比較、またはそれを少し小馬鹿にするジョークが多いです。あとはその時と場合に応じて、授業の話やスポーツの話、友達の話題になることが多いかなと思います。

●最後に

読んでくださりありがとうございます。今回の留学だよりでは日本とのギャップと自分の留学の途中経過について少し深掘ってみました。英語、友達関係、色々順調に進んできています！これからはニュージーランドでしかできないことや自分がやりたいことにもフォーカスしてがんばりたいと思っています。次の留学だよりも書くのが楽しみです！それではまた。

●留学・留学だよりに関する質問や要望はここから↓

<https://ninjar.jp/users/bae9a28896dcb9d68f41/themes/new>

